

2030年ビジョンの達成に向けて

基盤事業の強化と成長事業への投資による事業ポートフォリオの再構成を図り、2030年ビジョン「国内No.1のエネルギー輸送会社」達成をめざします。

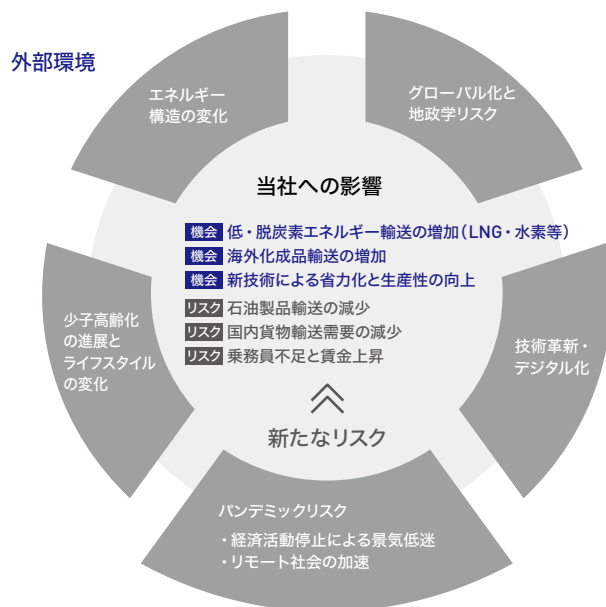
JOTグループは、大きく変化し、先行き不透明な事業環境のなかで、長期持続的な成長と持続可能な社会への貢献に向けた指針として、2030年ビジョン「安全・安定輸送による国内No.1のエネルギー輸送会社」を掲げました。安全・安定輸送維持向上のための投資と施策、ポートフォリオ再構成による収益基盤の強化、ESG経営の推進を着実に実行することにより、2030年ビジョンの実現をめざします。

始動となる2021～2023年度の中期経営計画期間中は、基盤事業における石油製品輸送、国内貨物輸送での収益を

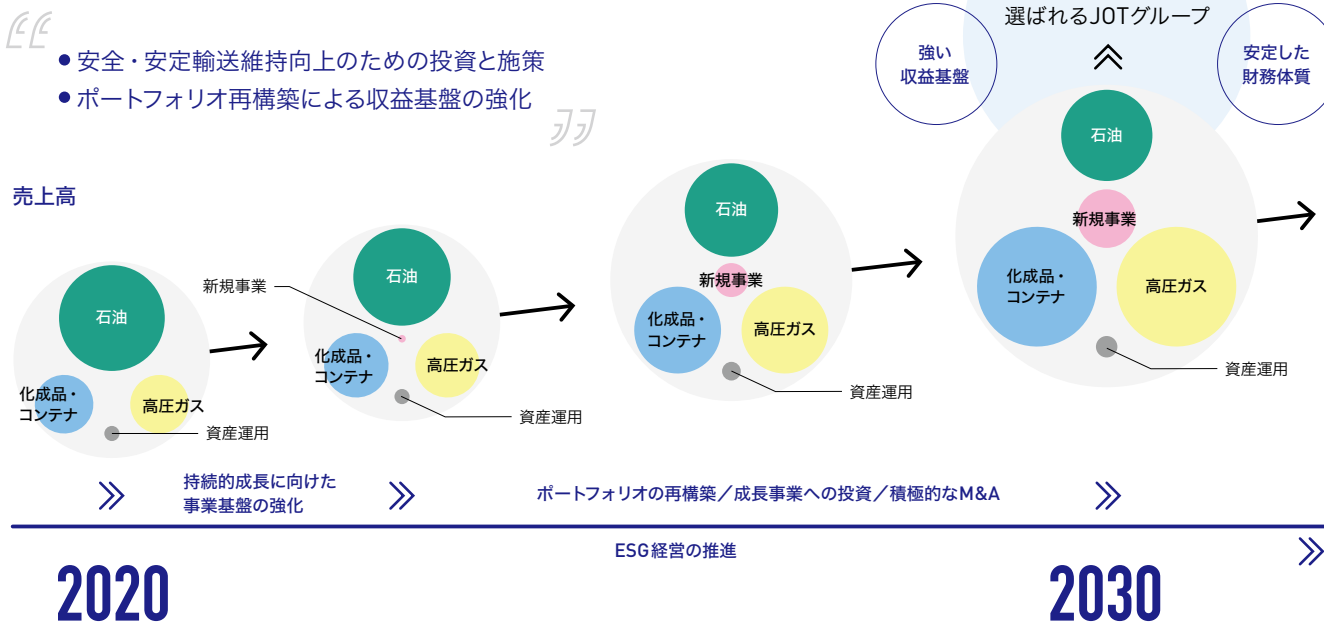
着実に確保することで安定した財務体質を確立します。同時に、成長事業として、脱炭素社会実現に向けて需要増が見込まれる高圧ガス輸送事業の拡大や、化成品輸送事業の海外市場開拓を図ります。

そして、2024年度以降には、これらの事業活動を大きな安定収益源、成長の柱として事業ポートフォリオを再構築し、成長事業へのさらなる投資、積極的なM&Aを実行することで確実な成果としてつなげていきます。

事業環境



2030年ビジョン達成へのロードマップ



中期経営計画(2021～2023年度)の概要と進捗

強い収益基盤、安定した財務体質の確立とESG経営の実践に努め、持続的成長に向けた事業基盤の強化を図ります。

JOTグループは、2021年度から2023年度までの中期経営計画を策定しました。本計画では、石油製品輸送、国内貨物輸送などの基盤事業における収益の維持・確保や、IT活用による業務改革等の生産性向上に努めます。また、成長に向けた取組みとして、脱炭素社会に向けた需要としての高圧ガス輸送などへの対応や、海外化成品輸送の収益力のさらなる向上等を図ります。

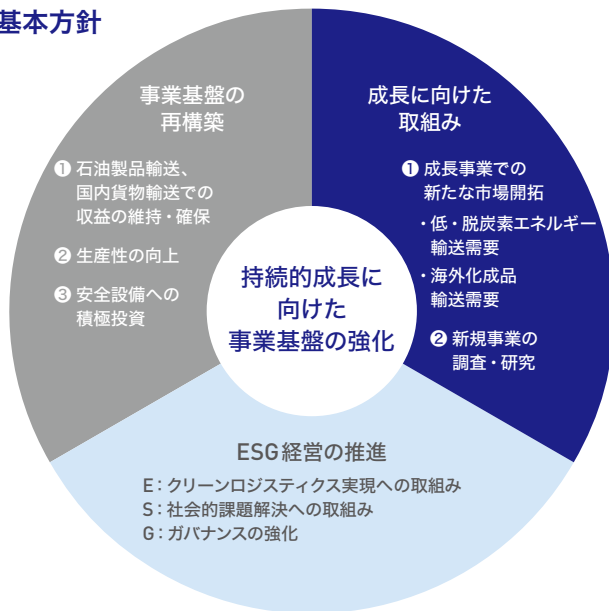
また、将来に向けた「クリーンロジスティクス」(CO₂の排出抑制に向けた、新たなエネルギーの輸送事業や輸送方法)の実現への取組みなど、ESG(環境・社会・ガバナンス)経

営の実践にも努めます。

2年目となる2022年度は、輸送需要はコロナ禍から徐々に回復しつつあるものの、エネルギー価格や原材料価格の高騰等の影響もあり、先行き不透明な事業環境に当初の計画との差異が発生しましたが、各事業における基本方針・行動計画のもと、変化にも迅速に対応しつつ、着実に取組みを進めていきます。

中期経営計画の達成により、強い収益基盤と安定した財務体質のもと、2030年ビジョンの実現をめざして、グループ一丸となって邁進していきます。

基本方針



数値目標

	2020年度	→ 2023年度	増減
売上高*	323億円	351億円以上	+28億円以上
営業利益*	14億円	18億円以上	+4億円以上
経常利益	15億円	19億円以上	+4億円以上
ROE	4.6%	6.0%程度	
投資総額(3年間)	2020年度(単年度) 40億円	110億円以上	
配当	1株当たり(年間) 100.0円 (記念配当20.0円含む)	1株当たり(年間) 100.0円	

※売上高と営業利益は「収益認識に関する会計基準」の適用と賃貸不動産に関する当社での会計方針の変更を2020年度において行ったものと仮定して算出したものです。

設備投資/キャッシュ・フロー

